

わたしが住んでいるほうき町は、毎年冬には雪がたくさんふります。雪がふると、友だちや妹、弟といっしょに雪だるまを作ったり、そりをしたりするのが楽しいです。わたしは雪に光が当たるとキラキラするところも好きです。ほうき町とこの本の場所がにているし、今年もたくさん雪がふるといいなと思ったから、この本を読むことに決めました。

この本は、スノーマンが、生まれてからとけてしまうまでのお話です。コマドリのロビンがまちまであん内してくれます。さい後はスノーマンがとけてしまうのでかなしかったけれど、また子どもたちが作ってくれることを知ってほっとしました。本に登場するみんながやさしい心を持っていて、読み終わったから、心が温かくなりました。本の中で、とくに心にのこった場面が三つあります。

一つ目は、スノーマンが公園の湖でスケートをした場面です。スケートぐつをはいてい

なかつたけれど、フィギュアスケートみたい  
にすごいわざを決めていました。もしも、わ  
たしがこおった湖に足をすべらせてしまっ  
たら、せつ対にころんでしまおうと思いま  
す。でも、スノーマンは、たった今歩ける  
ようになつたばかりなのに、ぼうしをキャ  
ッチしてロビンをよるこばすようなこと  
もできて、本当にすごいと思いました。

二つ目は、スノーマンとロビンがまちに  
着いた時、光に感動している場面です。天  
使のイルミネーションと夜空の星がきれい  
でした。わたしも、十二月三十日に、家  
族でとつたり花回ろうのイルミネーション  
を見に行きました。フラワートレイルで光  
のトンネルを通つた時、まるでゆめみた  
いでした。スノーマンも同じ気持ちだっ  
たのかなと想ぞうしました。

三つ目は、ロビンがスノーマンの心ぞう  
を生まれたところにおいた場面です。わた  
しはロビンがなぜそんなことをしたのか  
を考へて

みました。それは、毎年心ぞうを同じ場所に  
おいて大切にすることです。またスノーマンに  
会えるからだと考えました。ロビンは、この  
冬もスノーマンといっしょに、歩く練習をし  
たり、船に乗りたりして、楽しい時間をすご  
しました。二人は昔からの友だちで、冬にな  
ると、毎年いっしょにいるのだと思います。  
きっと、スノーマンもロビンといられること  
がうれしいはずですよ。

この本を読み終わって思ったことは、ロビ  
ンのように人にやさしくできる人になりたい  
ということですよ。もしも、自分がロビンにな  
っても、スノーマンがとけてしまうまで、そ  
ばにいてあげたいですよ。

人はびょう気やけがで苦しんだり、年を取  
ったりします。えい遠に年を取らないという  
ことはありません。そんな時、わたしは、  
っだいじょうぶですか。  
などの声をかけて、やさしい心で見守っ  
ていきたいですよ。